

この度は PIVOT ボルトスタビライザー RAIZIN をお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読みください。

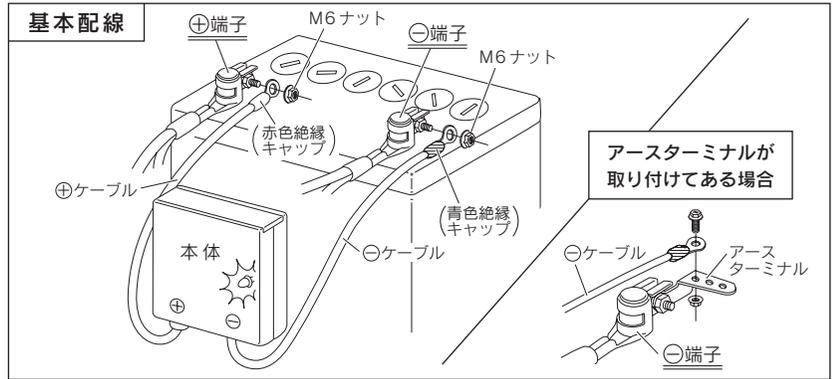
RAIZINの取付方法

警告

本品は手順に従い、安全・確実にお取り付けください。
特にケーブルの \oplus \ominus を逆に取り付けると製品は故障しますので、よく確認の上作業してください。

■用意するもの

- ・レンチ類 (ソケットレンチ
コンビネーションレンチ)
- ・ビニールテープ (絶縁用)
- ・ウエス ・脱脂剤



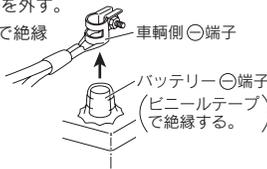
取付手順

1 取付準備

- ① バッテリー \oplus 端子から車輻側 \ominus 端子を外す。
- ② バッテリー \ominus 端子をビニールテープで絶縁する。

注意

作業中に誤ってバッテリーの \oplus \ominus をショートさせないよう、絶縁は必ず行ってください。



2 RAIZIN 本体の取付

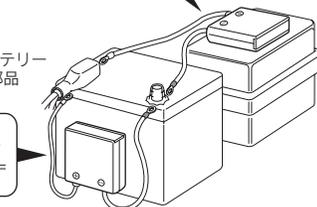
- ① 取り付ける場所を決める。

- ・2本のケーブルが無理なく各端子に接続できること。
- ・両面テープを使用して固定できる平面部であること。

例) バッテリー上面や横面、バッテリー周囲にある平面部を有した部品 (ヒューズBOX等)

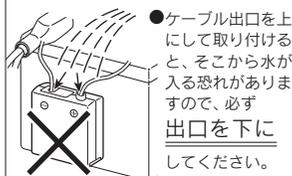
横面に取り付ける場合はケーブル出口を下にして取り付ける。*

上面に取り付ける場合、ボンネット裏等に当たらないことを確認する。



※水のかからない場所へ取り付け。

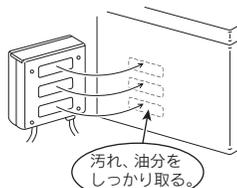
本体内の回路には防水処理コートをしてありますが完全防水ではありませんので水のかからない場所へ取り付け、水かけ等はしないようにしてください。



●ケーブル出口を上にして取り付けると、そこから水が入る恐れがありますので、必ず出口を下にしてください。

●水をかけないでください。かかってしまう恐れがある時には防水シート等で覆ってください。

- ② 本体ウラ面の汚れや油分を取って付属の両面テープを貼付する。
- ③ 本体の取り付け場所の汚れや油分をしっかりと取ってから本体を貼り付ける。

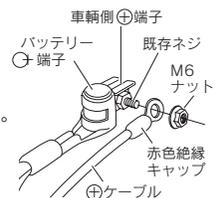


注意

1. 横面等へ貼り付ける場合には、両面テープの粘着が安定するまで約2時間は振動等を加えないでください。
2. 貼り直しは粘着力が低下するので行わないでください。

3 \oplus ケーブルの接続

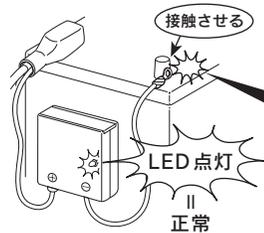
- ① バッテリー \oplus 端子のカバーを外し、赤色絶縁キャップ付ケーブル(= \oplus ケーブル)を車輻側 \oplus 端子へ接続する。
(方法)
・既存ネジにM6ナットを使用して固定。
・端子と既存ナットの間にはさみ込んで固定。
- ② 接続が終了したらカバーを元に戻す。
- ③ カバーだけでは不十分な場合はビニールテープ等を使用して確実に絶縁する。



4 配線の確認

- ① バッテリー \ominus 端子のビニールテープを外す。
- ② 青色絶縁キャップ付ケーブル(= \ominus ケーブル)をバッテリー \ominus 端子へ接続させ、本体内のブルーLEDが点灯するか確認する。
(
・LED点灯する=正常
・LED点灯しない= \oplus \ominus の方向、及び接触状態を確認する。)

警告 本品のケーブルの \oplus \ominus を逆に接続すると故障します。必ず確認してください。



接触時のスパーク等
特性上、バッテリー \oplus \ominus へ雷神の \oplus \ominus を接触させる時、または \oplus \ominus を通電後ショートさせると、強い火花が出ますが故障ではありません。

5 \ominus ケーブルの接続

- ① 車輻側 \ominus 端子をバッテリー \ominus 部へ確実に接続する。
- ② 青色絶縁キャップ付ケーブル(= \ominus ケーブル)を車輻側 \ominus 端子へ接続する。
(方法)
・既存ネジにM6ナットを使用して固定。
・端子と既存ナットの間にはさみ込んで固定。



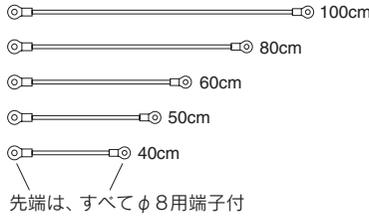
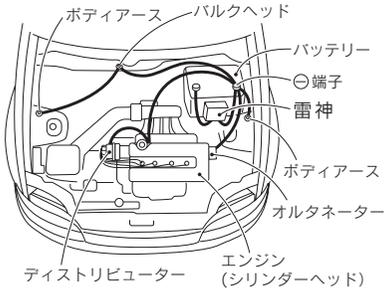
アースターミナルが取り付けられている場合は、ターミナルへ接続してください。(基本配線図参照)

6 ケーブルの整理

各ケーブルは付属のインシュロックタイ等で整理する。

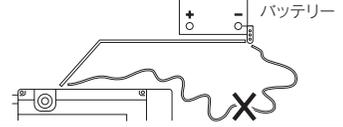
アースケーブルの取付方法 (VS-Eのみ)

■長さの違う5本のケーブルからそれぞれの配線間に最も近い長さを選び、引き回します。



⚠ 注意

1. ケーブルは、できるだけ短い距離で引き回せるようにしてください。
2. 短いものを引っ張って無理矢理引き回さないでください。
3. 端子は両端ともφ8が取り付けられていますので取付場所はM8以下のネジにお取り付けください。

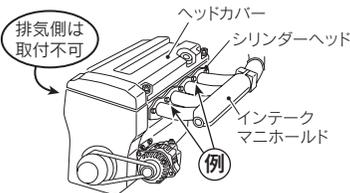


追加アース配線例

■用途に応じて下記例等へ追加アースをしてください。

Ⓐ シリンダーヘッド周辺

吸気側の2ヶ所くらいへ接続する。



各配線効果

Ⓐ シリンダーヘッド周辺

プラグの点火量up

● 低中速のトルクアップ

Ⓑ オルタネーター周辺

発電量の向上と安定

● 始動性の向上

Ⓒ ティストリビューター周辺

プラグの点火量upと安定

● レスポンスアップ

Ⓓ ポティアース

全体的な機器の安定

● ライト光量のアップ

Ⓔ ハルクヘッド (車内とエンジンルームの間の壁面)

カーオーディオの安定とノイズ減少

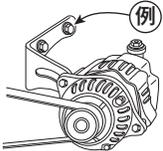
● 全電子機器の安定

ECUの安定とノイズ減少

● 低音域増強とノイズ音の減少に伴う中高音のクリア感

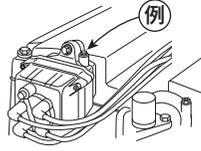
Ⓑ オルタネーター周辺

アースネジへ接続する。



Ⓒ ティストリビューター周辺

アースネジへ接続する。



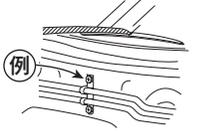
Ⓓ ポティアース

アース線のつながっているネジへ接続する。



Ⓔ ハルクヘッド

車内とエンジンルームの間の壁面のネジへ接続する。



⚠ 各接続場所へのケーブル接続方法

接続場所のネジをゆるめて外し、ケーブル端子を取り付ける。

(ネジをゆるめることが出来ても外せない場合は、端子の先端をニッパー等でカットして、クワ型端子状態にし、ゆるめた隙間へ差し入れて、共締めしてください。)

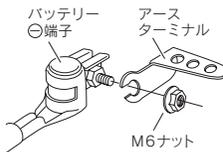


⚠ ターミナルについて

ターミナルはバッテリー液(希硫酸)におかされサビ等による通電不良を防ぐため、特殊な表面処理がされています。

そのため、キズがつきやすく、色が変わる場合がありますが、性能上全く問題ありません。

- ① バッテリー⊖端子へ、ターミナルを付属のM6ナットで固定する。



※M6ナットが使用できない場合は、車輛側⊖端子を止めているナットをゆるめてはさみ込んで固定する。

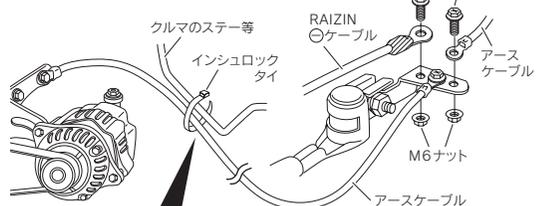


⚠ 注意

ターミナルには、定められた方向はありませんので、ケーブルを取り付けた際に他の場所やボンネット裏等に当たらないようお取り付けください。

- ② 各ケーブルをターミナルへ固定する。

※RAIZIN⊖ケーブルもターミナルへ接続可能。

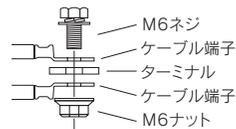


⚠ 注意

高温となる排気側の近くや回転するオルタネーター、ファンの近くにてケーブルを引き回す場合は、それらに接触しないよう、インシュロックタイ等で固定してください。

⚠ ケーブル接続時のご注意

1. 1つのターミナル穴へケーブル端子を2本つなぐ場合は、右図のようにターミナルの上下へ1本ずつ取り付けてください。



2. ケーブル端子をターミナルへ並べて付ける場合は、端子同士が重なってネジ止めが不完全にならぬよう(右図矢印)仮止めし、調整してからネジ止めを確実に行ってください。

